

『家庭学習の手引き』の発行にあたって

本校では、学校教育改善研究事業の研究指定をうけ、「基礎・基本の定着をめざす学習指導のあり方」をテーマに研究に取り組んできました。

その研究キーワードのひとつに『家庭学習の手引き』があります。完全学校週5日制の現状の中で、家庭学習を視野に入れた学習指導のあり方が強く問われています。授業をよりよく理解し、基礎・基本を定着させるには、主体的な家庭学習が必要です。

ところが、家庭でどんなことを、どのように学習したらよいのか分からない児童や効率の悪い学習の仕方が習慣化している児童も少なくありません。

そこで、本校では、授業の終末時の活動に工夫を加え、家庭学習の見通しを持たせるとともに、『家庭学習の手引き』を作成し、家庭での学習の指針を示してきました。

この『家庭学習の手引き』を使うことによって、児童の家庭での学習意欲は高まりを見せてきたように思います。また、学習内容も少しずつですが豊かなものとなっており、学習時間も増える傾向にあります。今後も、「自学の習慣化」がより一層図れるように、さらに中身の濃いものにしていきたいと考えています。

なお、1・2年生では、保護者の協力のもとで家庭学習が行えるように、「保護者向けの家庭学習の手引き」を児童用と併せて作成しました。

研究推進委員会

平成15年3月